

2026 年 9 月 10 日

ブルーイノベーション株式会社

ブルーイノベーション、「下水道の日」にあわせ下水道点検 DX の最新動向を公開 ～「管内 No Entry」へ、ドローン活用は実証から実装の段階へ～

ブルーイノベーション株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長 熊田 貴之、以下 ブルーイノベーション)は、9 月 10 日の「下水道の日」にあわせ、八潮市での道路陥没事故以降の下水道点検を取り巻く環境の変化と、屋内点検用球体ドローン「ELIOS 3」を活用した「管内 No Entry」の社会実装に向けた取り組みを紹介するコラムを公開しました。

2025 年 1 月の八潮市での道路陥没事故を契機に、全国特別重点調査や制度の見直しが進み、下水道の維持管理は大きな転換点を迎えています。国土交通省においても、ドローンなどの新技術を活用し、作業員が危険な管内へ立ち入る機会を減らす「管内 No Entry」の実現に向けた取り組みが進められています。

ブルーイノベーションでは、ELIOS 3 を活用し、自治体や下水道管路の点検事業者などと連携しながら、下水道管内に人が立ち入ることなく調査する技術の検証・実装を推進しています。本コラムでは、これまでの現場での技術検証に加え、青森県八戸市の「下水道全国特別重点調査」での活用事例などを紹介し、ドローンによる下水道点検が「実証する技術」から「実際に使う技術」へと移りつつある現在地と、データ・AI 活用を見据えた今後の展望を紹介しています。

■コラム全文はこちら

八潮の道路陥没事故から 1 年半。下水道点検はどう変わったのか
—『管内 No Entry』へ、ドローン活用は実証から実装の段階へ—
<https://blue-i.co.jp/cloud mobility/column 49.html>

■会社概要

ブルーイノベーション株式会社(東京都文京区 | 東証 5597)

1999 年 6 月設立。独自の統合プラットフォーム「Blue Earth Platform[®](BEP)」を基盤に、ドローン・ロボットを活用した点検、防災、教育、物流の分野でソリューションを開発・提供しています。老朽化インフラの維持管理や災害対応、人手不足への対応など、さまざまな社会課題の解決に取り組んでいます。

<https://www.blue-i.co.jp/>